



# メルセデス・ベンツ

R129 SL-Class/W140 S-Class/W210&W124 E-Class/W202 C-Class/W201 190E



ある日急に路上でストップ…、しないために  
中古ベンツを買ったら  
まず点検したい  
ポイントを総チェック

輸入車に  
安心して  
乗る方法

オーナー必携のトラブル解決バイブル  
定番のトラブル実例と  
その解決法・対策費用を  
車種ごとに徹底的に解説



トラブルを解決するために……

オススメなユーザーのタイプ

- ディーラーでは敷居が高く、作業を頼みにくい
- カスタムやドレスアップの相談をしたい

Section #

R129(SL-Class)

W140(S-Class)

W210(E-Class)

W124(E-Class)

W202(C-Class)

W201(190E)

# 安心して愛車のメンテナンスを頼める 主治医シヨップを見つける

メルセデスを専門  
とする工場を探したい

さて、ここまで様々なトラブルの症状とその原因について解説してきましたが、実は最も根本的な問題について触れずにきました。それはいざトラブルが発生したときに、どこに修理を依頼するかという問題です。輸入車の整備に関して最も一般的で間違いがない選択は、やはり各販売系列のディーラーです。幸いメルセデスの場合、ヤナセ系列、シュテルン系列を合わせれば、日本全国でいずれかのディーラーを比較的近所で見つけることができるはずです(離島などは別ですが……)。

ただ誰にでもディーラーが最

適かという点、そうともいえないようです。最近は少なくなってきたといいますが、依然として一部のディーラーでは並行輸入車の整備を受け付けないという話も聞きますし(もちろんそれには相応の理由がありますので、一概に問題があると決めつけることはできません)、トータルで掛かる整備費用について考えると二の足を踏んでしまうという場合もあるかもしれません。また、単に中古車で購入したため、ディーラーは敷居が高くて感じられてしまうという人もいますでしょう。

そこでそうした方にオススメしたいのが、メルセデスをはじめとする輸入車を専門とする整備工場やカスタマイズまでを手



いい整備工場の条件とは、腕のいい経験豊富なメカニックがいること、工場内がいつもきれいに整理整頓されていることです。

掛けるプロシヨップです。これは輸入車全般にいえることです。が、どうしても国産車とは構造的に異なる部分や設計思想の違いなどから、輸入車を整備した経験の少ない整備工場などではメンテナンスやトラブル解決



スリーポイントのファクトリー近隣に併設されるユニークなショールームは、メルセデス関係のアクセサリーや書籍なども販売しています。



ファクトリーには作業が終わるまでの間、ゆっくりとくつろくことができるスペースが用意されていますので、家族連れでも気兼ねなく立ち寄れるのでは？

## Recommend Shop

### スリーポイント

東京都東村山市本町1-6-76  
☎042-391-0022  
http://www.threepoint.co.jp  
定休日：祝日、火曜日（ファクトリーのみ）  
営業時間：10:00-19:00

本誌での取材撮影にも協力していただいたスリーポイントは、西東京地区のメルセデスオーナーから絶大な信頼を寄せられているプロショップです。ベテランのメカニック白岩氏のノウハウと設楽社長の知識を基に、旧型モデルから現行車まで、様々なメルセデスオーナーが集まり、ピットはいつ行っても整備待ちのクルマが並んでいる状態です。また、AMGやブラバス、ロリンザーといった本国チューナーの製品をはじめとするカスタマズにも力を入れていますので、メンテナンスだけでなくチューニングからドレスアップまで様々な要望にも対応できる懐の深さを持っているのです。

スリーポイントは、メルセデスの補修部品を本国から取り寄せて整備工場や一般ユーザーに販売しているユニークな母体としているため、修理の依頼に対しても良質な補修部品を使ってリーズナブルな価格で対応してくれるのが、多くのユーザーに支持されている理由のひとつでもあります。同社のHPからは部品の注文も可能なので、遠方の方で部品の調達にお困りの方でしたら、一度HPをのぞいてみてはいかがでしょうか。

の勤どころが分からないことがあり、適切な処置ができなかつたり、原因の解明に時間が掛かってしまうこともあります。そのため、整備を依頼するのは、なるべく経験のある専門シヨップに頼みたいところです。

またメンテナンスだけでなく、将来的には何らかのカスタマイズまでを行いたいと考えている方には、より専門的な知識を持ったプロショップがオススメです。幸いメルセデスの場合は国内で販売されている台数も輸入車としてはかなり多いため、大都市の近郊であればメルセデスを専門とするプロショップやドイツ車を全般的に扱う整備工場なども多く見られるようになってきました。ディーラーにはちよつと……、という方は、そうしたシヨップの門を叩いてみてはいかがでしょうか。

本書でもこれまで紹介してきましたように、いくら信頼性の高いメルセデスとはいっても、特

に少し年式の古めのモデルでは、様々なトラブルの発生が予測されます。しかしそうしたトラブルはツボを押さえたメンテナンスと適切な対策を行うことで十分に対処できるものです。そしてそのためには安心してメンテナンスを頼める主治医シヨップを見つけることが、実は最も大切なことなのです。ある意味そうした信頼できるシヨップや修理工場を見つけて、いい関係を築くことができれば、メルセデスとの輸入車ライフは八割がた安泰であるといっても過言ではありません。

ただ、シヨップや整備工場との関係というのは、突き詰めれば人間対人間のつき合いとなりますので、それぞれに合う合わないの問題もあるかと思えます。そこでクルマと同様に長くつき合っていくことができるか、という点にポイントを置いてお店選びもじっくりと時間を掛けて行ってみてはいかがでしょうか。